

# 50年の活動記録（会員企業による施工作品集）

## 区庁舎の変遷

大田区役所は昭和22年に大森区と蒲田区が合併し誕生して以来、時代と共に建物そして場所も変化を遂げ現在に至っています。



円内は蒲田駅東口通りにあった荏原郡蒲田村時代の村役場。

右は昭和6年に新築された蒲田町役場で昭和7年に合併されてからは蒲田区役所になった。



## 木造時代の本庁舎（昭和16年築）



昭和16年に建てられた大森区役所。昭和22年に大森区と蒲田区が合併して大田区が生まれ、大田区役所になった。

### 旧本庁舎（昭和38年改築）



大田区役所は戦前戦後を通じて20年余も使用され、老朽化してせまくなったため、昭和38年に鉄筋5階建てのビルに改築された。

### 旧本庁舎（平成元年大規模改修）



平成元年度に改修された前庁舎である。

## 現庁舎（大規模改修工事を協同組合で受注）

区庁舎移転に伴い、平成9年5月に既存建物(地下4階、地上11階、塔屋1階)を区庁舎に改修するための建築工事、電気設備工事及び機械設備工事が一括して発注され大田建設業協同組合が30億9750万円(前払金は1億円)で受注した。



竣工した庁舎の正面

当工事は屋上に無線塔を建てる事と10,11階に議場を造る事が工事の重要な部分でした。鉄塔工事は、大田区役所営繕課各諸官庁の方、又東畑建築事務所の皆様のご指導の元、11月1日～11月3日の3日間で無事施工する事が出来ました。この3日間は風も吹かず本当に気候にも恵まれた事が工事工程にも影響することもなく竣工できた事と思います。企業体職員が鉄塔の上で記念撮影をする姿を見た時は物を造り出す建築家冥利に尽きると思いました。内部工事及び議場工事も突貫工事でしたが無事施工する事ができ、この様な大規模工事の責任者として無事故、無災害で竣工できた事は関係各位の方々の御指導、御鞭撻の賜物と深く感謝致しております。

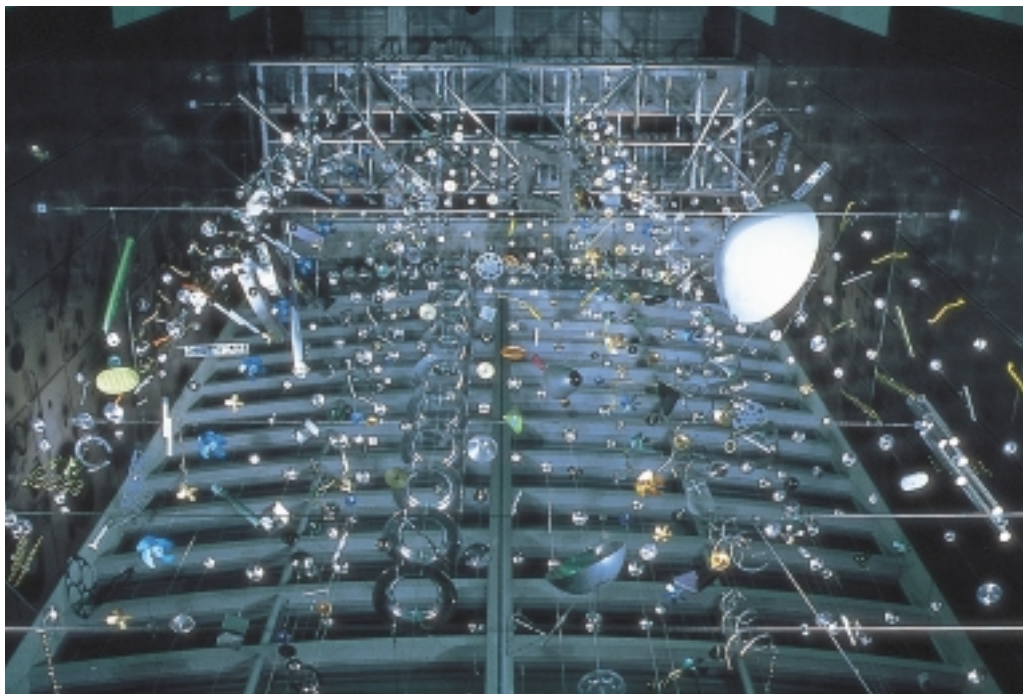
大田建設業協同組合 久保田所長



全景



## 区庁舎吹き抜けにアートディスプレイ



上は大田区本庁舎の吹き抜け空間「テクノコスモス」  
ディスプレイ産業賞 “ 98受賞  
ディスプレイ産業大賞（通商産業大臣賞）受賞  
“ 98年度ディスプレイデザインコミュニケーション  
スペ - ス部門 優秀賞 / 特別賞受賞

“テクノコスモス”は、大田区のパブリックアートとして本庁舎の吹き抜け空間に設置されました。小さなスプリングからロケットの先端まで、103品目、836個もの工業部品から成り立っています。

ひとつひとつの部品からは、制作した工場や職人のこと、その技術や用途など様々な事が思い浮かび、地域に生まれたいくつもの物語を伝えています。また、建物の外には、コミュニティの温かさや人々のふれあい、将来への夢を感じる彫刻を設置しました。

総合プロデューサー 田中 常雅  
アーティスト / 監修 逢坂 卓郎